

全国キャラバン山城博治さんが走る

沖縄を再び戦さ場にするな！

沖縄・南西諸島からの訴え

新橋駅→有楽町駅→新宿駅

2023年10月19日 共同テーブル

■「沖縄を再び戦さ場にするな！沖縄・南西諸島からの訴え！」

10月19日（11:30～15:30）の山城博治さん全国キャラバン



【19日のコース】新橋駅ゆりかもめ口

◆新橋駅ゆりかもめ口→有楽町イトシア前→
新宿駅南口の三カ所。

■11:30 新橋駅ゆりかもめ口に宣伝車が横付けされ、車上に山城博治さんが立った。応援弁士に駆けつけた大橋ゆう子さん(参院議員)がマイクを握った。

◆大橋ゆう子議員

今、沖縄で起きていること知ってください。玉城知事が新基地建設工事に署名しないと判断しました。その理由は、基地建設の海底軟弱地盤にあります。地中深く杭を打っても完成しない、できない基地建設です。先の最高裁判決では沖縄県の上告を棄却しました。しかし沖縄県知事として米軍基地を日本が肩代わりして税金を出すことはできません。県民の声を無視して建設を進めているのです。国は、知事が署名しないからと力で代執行をしようとしています。このことは、私たち、皆さんも身近な問題です。原発も軍事基地も国のやり方に反対させないで進めるのが自民党政治です。こんなやり方に私たちは抗議します。基地よりも平和です。皆さん平和こそ生きる条件です。



◆山城博治さん（沖縄を再び戦場にさせない県民の会議事務局長）

東京の皆さん山城博治です。沖縄戦の教訓から、沖縄に基地はいらない。政府は辺野古新基地建設に署名しない玉城知事を攻撃しています。玉城知事は間違っていない。沖縄県民150万人の判断を尊重、信じて実行している。苦しい立場いる玉城知事を応援してください、この10年、沖縄40の島々に基地作り続けている。中国に攻められるから！だから港湾整備やシェルターを作る。どうしたら逃れるのか？どうやって逃げるのかの先行論議に誘導される。九州まで逃げる？対馬丸でないが空想論議に誘導されている。戦争をしない、巻き込むことを止める。それが日本の役割です。懸念は、外務省、国連、政府がこぞって「中国は危ないと40の島々に基地をつくる」に政府が前のめりで止めることができない。旧陸軍が力をつけて侵略戦争をした歴史を繰り返してはいけない。43兆円もの税金を軍備に注ぎ込み沖縄の悲劇を再現してはいけない。沖縄が戦さ場になれば、本土まで全国に広まる。沖縄の平和は日本の平和です。

■12:30 有楽町イトシア前に移動 杉浦弁護士も応援弁士に加わる

◆大椿ゆう子参院議員

◆杉浦ひとみ弁護士

安法制を認めてから8年経っても戦争は始まっていない？反論がありますが、軍備増強は着々と進んでいます。安保三文書は戦争の教書です。一発5億の中古トマホークを大量に買い求める。アメリカの言いなりになっては平和に暮らせません。日本がアメリカが軍備増強すれば、中国、北朝鮮を煽ることになります。沖縄に基地が弾薬庫が作られていることを見逃ごせません。子どもたちに戦争を押し付けられません。軍事費を教育に使えばどれだけ教育水準と家計が楽になります。子どもたちに平和を沖縄に連帯、応援しましょう。平和を子どもに残し頑張りましょう！



◆山城博治さん

◆山城博治さん

今、沖縄県民は島々から逃げようとしています。政府がアメリカが「中国が攻めてくる」のデマ宣伝です。パレスチナの住民がエジプト国境に逃げます。沖縄も同じです。パレスチナ、ガザ地区住民200万人、沖縄県民150万人一度に避難などできない。バイデンの言いなりで中国が攻めてくるウソに負けません。政治は諦めてはダメです。国会がアメリカ政府の言いなりではダメです。皆さん政治を見捨てないでください。アメリカは戦後、沖縄の大地をブルドーザーで、木っ端微塵にして基地を作りました。今、日本政府がやっています。基地建設を反対する玉城知事が悪いのか？皆さん、近隣諸国とはいくらでも仲良くできます。玉城知事は先月、外交挨拶で中国を訪問しました。



攻めてくる、攻めてくるとバイデン大統領の代弁を受け売りする日本政府は平和主義に無能です。皆さん沖縄の平和は日本の平和です。

■14:30 新宿駅南口

弁士に佐高信さん、福島みずほ参院議員、辛淑玉さんが立ちました。この新宿駅南口が一番多く集まる。水摩雪絵さん(葛飾区議)の司会で進められた。

◆佐高信さん

はじめて沖縄に行ったとき、米軍基地のフェンスに「コーション」の看板があった。ここは日本じゃないの「日本語で書け、気をつけなさい」とどちらが日本なのか思わせた。石橋湛山を偲んでアメリカのリチャードさんに取材をした。「日本はアメリカと心通ずるのか？」と聞かれた。多くの日本人は、戦時になれば、アメリカが助けてくれると思っている。それは「アワビの片思い」です。岸田というとながら思わす「岸田晋三」と言ってしまう。軍備拡張で平和が守れるか！アフガンの人民支援活動をした中村哲さんは、世界に誇れる日本人です。中村哲さんを紙幣の顔にすべきです。自衛隊は県民の命を守らない。



◆福島みずほ参院議員

明日の20日から始まる臨時国会、庶民が生きる糧となるものにしたいです。しかし、岸田政権は庶民に寄り添いません。弾薬確保に9000億円超を支出します。給食費無償化4000億円あまり、大学無償化に3兆円です。軍事産業の国営化さえ進める自民党政権を許せません。沖縄を戦場にさせない。

自民党政権は、攻撃されら船で九州に避難する。何を言うか？戦時中の対馬丸沈没を忘れたのか。できません。辺野古新基地建設は海底軟弱地盤でできません。



◆辛淑玉さん

安保法制成立時の8年前、ここにある歩道橋で焼身自殺をしたことの辛い思いがある。かつて佐藤栄作はノーベル平和賞を受賞した。沖縄で多くの子どもに「栄作」の名をつけた。同調することで近づく思いを持った。アメリカは、沖縄に核と米軍基地を持って来た。米兵による犯罪がはびこった。アメリカで駐留経験者にインタビューする機会があった。「アメリカでできないことができる」「パスポートがいらぬ」「何やっても拘束はない」等々。日本の政権は、沖縄を裏切り見捨てた。緊張を沖縄に押し付けてきた。パレスチナのガザが悲惨だ。あれは沖縄だ！皆さん沖縄のそばにいてください。



◆山城博治さん

辺野古新基地建設はおかしいと県民と玉城知事が判断して最高裁に上告した。「最高裁の判断を破る玉城知事はおかしい」と叩かれています。沖縄の島々の島民は、政府による中国脅威に煽られ、市町村で飛行場、港湾のインフラ整備が急ピッチで行われている。シェルターも作れ、逃げるために金は出すと札束で頬を叩く。首長が乗りだしている。反対する者は非国民！玉城知事を非難する嵐がある。玉城知事を支える。黙っていると戦争になります。玉城知事は中国に行って「戦争をしない」と話している。それでも、政府は中国の話を見聞かぬ、アメリカに従えの一点張りです。沖縄復帰の50年前に日本復帰を誤った。今、出て行けです。私たちは苦しくとも希望は持ちます。そのために政治を変えよう。バイデン大統領は戦争が全てになっている。岸田首相も一緒です。そんな戦争好きのバイデン！戦え戦えにストップさせる。戦後78年いい加減にアメリカ離れをしよう！それを言うのが日本だ。同盟国だから言って立つべきだ。日本には外務大臣が存在しない。横田基地の米軍に振り回されている。皆さん一緒に頑張りましょう！



※山城博治さんは、続いて埼玉県浦和に向かい、沖縄の日本の平和を訴えました。